● 浴室など湿気の多い場所では絶対に

● 周囲温度が 40℃以上になるところ

感電および故障の原因になります

使わないこと(浴室用換気扇をお使

● 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付け

をおこなってください。 ● ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への 危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大 きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定 される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する 重要な内容ですので、必ず守ってください。

/!\警 告:人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

想定される内容。

絵表示の例

○ 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁

止)が描かれています。 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるもので す。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラ グをコンセントから抜いてください) が描かれています。

たり修理・改造をしないこと 分解・修理・

● 交流 100V 以外で

ります

しないこと

使用禁止

埋込禁止

取付注意

は使用しないこと

火災・感電の原因になっ

事をおこなうこと

火災などの原因になります

● 修理技術者以外の人は、絶対に分解し 発火・感電したり、異常動作してけがをする **取付注意** 改造禁止 おそれがあります

● レンジフードの壁への埋め込みは

漏電した場合、発火するおそれがあります

● 排気工事をされる場合は、建築基準

法(同施行令)および消防法などの

関連法規に従って法的有資格者が工

なうこと 100V

取付注意

誤った配線工事は感電や火災の原因になります ● メタルラス張り、ワイヤラス張り、 または金属板張りの木造の造営物に 金属製ダクトが貫通する場合、金属 取付注意

漁警告

● 配線工事は電気設備技術基準や内線規

程に従って法的有資格者が工事をおこ

製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、 金属板とが電気的に接触しないよう 取り付けること 漏電した場合、発火したり感電するおそれが あります

物との間を 10cm 以上離すか、不燃材 料を使用して可燃物を覆うこと 火災などの原因になります 詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください

● レンジフードと排気ダクト等は、可燃

けること 取付注意

漏電した場合、発火するおそれがあります ● アースを確実に取り付けること 故障や漏電のときに感電するおそれがあります

アースの取り付けは販売店にご相談ください アースを ● 自然排気型のストーブを使用するとき は、空気の取入口(給気口)により十 分給気される配慮をすること 取付注意

排気ガスが室内に逆 流し、一酸化炭素中 毒を起こすおそれが あります

● レンジフードは、薄板の金属部(壁内 ラス網など)と接触しないよう取り付

取付禁止 火災・故障の原因になります ● 運転中は、指や物を 絶対に入れないこと「 けがをするおそれがあり 接触禁止 ます

■ 取り扱いの際は、

すること

あります

必ず厚手の手袋を

鋼板の切り口や角で

けがをするおそれが

には取り付けないこと

いください。)

使用禁止

手袋をする

うこと 取付注意

注意

取付注意

るおそれがあります ● 部品の取り付け は確実におこな 落下によりけがをす るおそれがあります

● レンジフードの取

なうこと

り付けは、十分強

度のあるところを

選んで確実におこ

落下によりけがをす

の重さがあります

● 作業は2人以上で おこなうこと レンジフードは 31kg 取扱注意

取り付け上のお願い

● 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って 法的有資格者がおこなう必要があります。 ・大工工事【設置のための下地工事等】 ・配線工事【コンセントの設置、コンセント・コネクター利用

以外の配線接続等】 ・管工事【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】 流通業者(販売店)を通して組立・設置する場合は、「建設工事」 とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。

● ダクトの不燃処理について ・ダクトを 50mm 以上の不燃材料、または 20mm 以上の国 土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。 ・施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」・「検 査要領書」に従ってください。

調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しな いでください。排気効率が低下します。 ● 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプ フードの通気抵抗は 400m³/h 時 50Pa 以下のものをご使用く

トは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなり ますので使用しないでください。 ● ダクトは必ず屋外側に向けて下り勾配を設けてください(目安 1/100 ~ 1/50 程度)。雨水の浸入や結露水の逆流の原因にな

ります。 ● レンジフードは調理機器の真上に取り付けてくだ ≪ さい。なお、レンジフード取付高さは、レンジフー 80㎝以上 ドの下端が調理機器の真上 80cm 以上になるよ

● レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り 付けないでください。 また、横方向 50cm 以上離して取り付けてく □ ▼ **50cm** 以上 ださい。湯沸器の真上は高熱になるため故障

の原因になります。 ● 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。

お台所の全体換気のために他の換気扇と併用していただければ、 よりすぐれた換気ができます。 ● 建物が密閉されている場合は必ず、約 400cm² 程度の空気取入

口を設けてください。 ● 寒い地域ではダクトが結露し、レンジフード内に結露水が流れ る場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。

取り付け前の調査と準備

● 修理技術者以外の人は、絶対に分解した り修理・改造をしないこと 分解・修理・ 発火・感電したり、異常動作してけがをするおそ **取付注意** 改造禁止 れがあります

● レンジフードの壁への埋め込みはしない

埋込禁止 漏電した場合、発火するおそれがあります ● 排気工事をされる場合は、建築基準法(同) 施行令)および消防法などの関連法規に 従って法的有資格者が工事をおこなうこと 火災などの原因になります

取付箇所の強度確認

製品を支える強さが 製品質量 必要です。

🤈 天井面への穴あけ(取付詳細図- 1) 1) 天井面のレンジフードを取り付ける位置に間口 300mm×奥行300mmの開口をあけてください。 2) 開口部周辺を補強桟で補強してください。 ※補強桟は、野縁・野縁受け等に固定してください。

🤦 吊りボルトの取り付け(取付詳細図- 2)

※吊りボルトは、M10~12を用いてください。 ※吊りボルトは製品を支える十分な強さを確保してく ださい。必要となる強度は、建物の条件、耐震クラ スなどにより異なります。

排気ダクトの取り出し(取付詳細図-2) φ 150 のスパイラルダクトを、取付詳細図ー 2 の位置 に取り出してください。

標準取付寸法

固定用テープ

(単位:mm)

天井開口部

<u>25</u> 専用コンセント **金**後側

275

本製品の標準取付寸法は、調理機器上面からレンジ フードの下端まで 80cm です。 ※火災予防条例では、グリスフィルターの下端が調理機 器の真上80cm以上必要となっています。

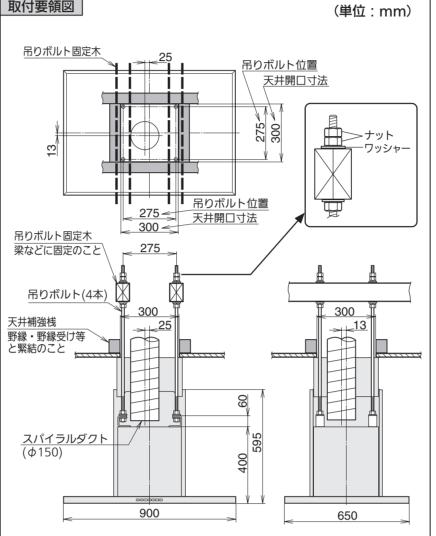
てください。(交流・単相 100V) コンセントは、JIS C 8303 2 極差込接続器 15A 125V をご使用ください。

注意

● 周囲温度が 40℃以上になるところには 取り付けないこと

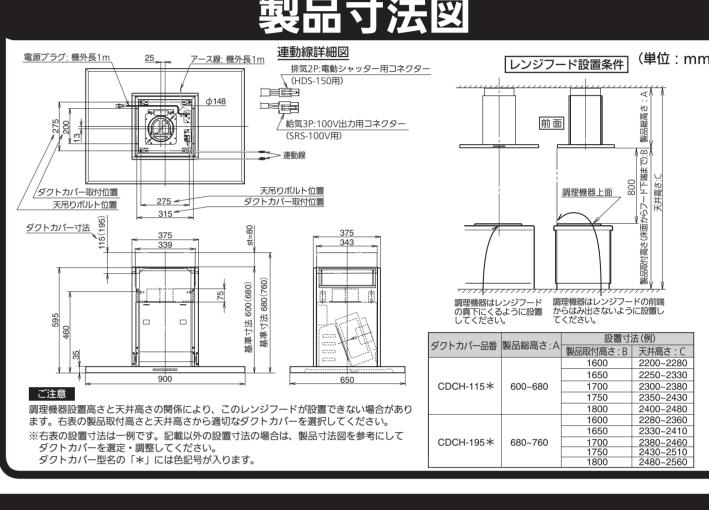
取付禁止 火災・故障の原因になります ● 取り扱いの際は、必ず厚手の手 袋をすること 手袋をする 鋼板の切り口や角でけがをするおそれが

● レンジフードの取り付けは、十分 強度のあるところを選んで確実に おこなうこと 取付注意 落下によりけがをするおそれがあります



各部のなまえ ー電源プラグ ダクトカバー 横ふた (別売品) --- 後ふた 前ふた -連動信号 受信部 スイッチー – ベルマウス – オイルパック 煙道枠一 煙道 一

付属品 トラスねじ(M4×10) 13本 煙道およびフードの取り付けに 使います。 トラスねじ(M5×12) 4本 フードの取り付けに使います。 煙道 1個 本体内部に取り付けます。 ベルマウス 1個 (煙道にテープで固定されています。) 本体内部に取り付けます。 フード固定金具 1個 フードと本体の固定に使います。 ソフトテープ 1本 排気口とダクトとのすきまを ふさぐのに使います。



1. 付属品の確認

● 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること 鋼板の切り□や角でけがをするおそれがあります

● 作業は 2 人以上でおこなうこと 製品は 31kg の重さがあります 取扱注意

付属品を確認します。

手袋をする

取付注意

取付禁止

梱包箱から付属品を取り出し、上項の付属品一覧により不足が ないか確認してください。 お願い

保護用のクッション材と固定用テープはキズ、破損防止のため、 「3. フード・本体の準備」まではずさないでください。(図 1 - 1) 床で作業する場合、本体および床にキズを付けないため、必ず シートを敷いた上で作業をおこなってください。 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。 固定用デープ

2. 取付準備

● メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に 金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、 金属板とが電気的に接触しないように取り付けること 取付注意 漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります

● 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令)および消防法など の関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと 火災などの原因になります

● レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、 不燃材料を使用して可燃物を覆うこと 火災などの原因になります 詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください

● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと (浴室用換気扇をお使いください。) 使用禁止 感電および故障の原因になります

> ● 周囲温度が 40℃以上になるところには取り付けないこと 火災・故障の原因になります

事前に管工事業者(法的有資格者)へ 図2-1 天井面へのダクト穴の開口を依頼して ください。(図2-1) また、天井開口部近くの補強桟または 野縁等に専用コンセントを設置します。

φ 150 のステンレスダクト、または ▲ スパイラルダクトを図のようにレンジ フードの上部に突き出すようにセット して、周囲を仕上げます。(図2-1)

9 M10 ~ 12 の吊りボルト (取付作業) 3 者側手配)を4本、天井内の梁などの 頑健な部分に固定します。固定ピッチ は前後、左右とも 275mm です。 (図2-1)

お願い

天井面からのダクトと吊りボルトの突き出し長さ(A)は、製品総高さ(範囲:600~ 760mm) により異なります。製品寸法図を参考にして、次式により算出してください。 ダクトと吊りボルトの突き出し長さ(A) = 「製品総高さ」 - 440

吊りボルト(M10~12)/

(取付作業者側手配)

| 製品総高さ | ダクトと吊りボルトの | ※「製品総高さ」寸法は、「ダクトカバー(別 | 突き出し長さ(A) | 売部品)」、「製品取付高さ」および「天井高さ」 160 (+10) まで によって異なります。 240 (+ 10) まで 760 320 (+ 10) まで

3. フード・本体の準備

お願い

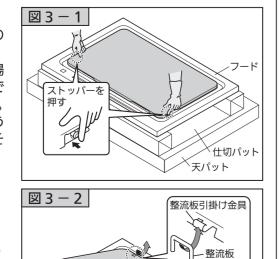
はずしたねじは取り付けの際に使用しますの でなくさないでください。 ・はずした部品は変形させないよう、平らな場 所に置いてください。また、はずした部品で

床などにキズをつけないようご注意ください。 金具の変形防止のため、(図3-1)のよう に必ず天パットの上に仕切パットを載せ、そ の上にフードを置いて作業してください。

■ フードの準備

整流板をはずします。 1) 保護用のクッション材をはずし、整流 板の左右にあるストッパーを押しては ずします。(図3-1)

2) 整流板を両手で支えながらゆっくりと 開き、後ろを持ち上げて整流板吊り金 具からはずします。(図3-2) ※必ず左右同時にはずしてください。 金具の変形の原因になります。



吊り金具

31kg

● レンジフードの吊りボルト位置に合わせて、吊りボル トを垂らしてください。

電源コンセント・ブレーカー 電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置し

カオイルパックをはずします。(図3-3) 図3-3 ← 1) 固定テープをはがします。 2) オイルパックの両端を持って手前に 引き、ツメからはずします。

(はがす)

固定用テーフ

マグネット

キズ防止テープ (はがさない) \

トラスねじ一賞

図3-6

≧はがす〕

前側

∮ 煙道枠をはずします。(図3-4) 図3-4 1) 煙道枠を固定している2ヶ 所のねじをゆるめます(ね じははずれません)。 2) ゆるめたねじ側をゆっくり

2 ヶ所のツメをはずします。 天板前・天板後をはずします。(図3-5) 図3-5 ※フードを天板が上面になるように置き、 2ヶ所の固定用テープをはがします。

と持ち上げ、反対側にある

1) 天板前をななめに持ち上げ、ツメ4ヶ 所をはずします。 ※天板を変形させないようご注意く ださい。

持ち上げてツメ5ヶ所をはずします。 ※天板を変形させないようご注意く ※取りはずしたねじは「4. 本体の取

2) 天板後を固定しているトラスねじ

(M4 × 10) 2 本をはずし、ななめに

り付け」にて再度使用しますので、 なくさないでください。 お願い 天板に貼ってあるキズ防止テープは取 り付けが完了するまではがさないでく

ださい。 ■ 本体の準備

前ふた・後ふたをはずします。(図3-6) 前ふた・後ふたの上端を手前に引いては ずし、前ふた・後ふたを持ち上げて、下 端の引掛け部を横ふたからはずします。 **1** 横ふたをはずします。(図 3 - 6)

▲ ※両側ともはずしかたは同じです。 横ふたを固定しているトラスねじ(M4 × 10) 8 本をはずし、横ふたをはずし

※取りはずしたねじは「4. 本体の取り 付け」にて再度使用しますので、な くさないでください。

引掛け部 **3** ソフトテープを貼り付けます。(図3-7) 図3-7 排気口に付属品のソフトテープを貼り付けます。 ソフトテープ

4. 本体の取り付け

トラスねじ

/ 注意 ● レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところ を選んで確実におこなうこと 落下によりけがをするおそれがあります 取付注意

● 部品の取り付けは確実におこなうこと 落下によりけがをするおそれがあります 取付注意

> の値を算出してください。 X=「天井高さ」一(「床から調理機器上面ま での高さ」+800+460)

■ 1) 右図を参照し、次式によりマーカー位置(X)

¶ レンジフードの固定位置を決めます。(図4-1) 図4-1

例: 天井高さが 2350mm、床から調理機器 上面までの高さが 850mm の場合 X = 2350 - (850 + 800 + 460)天井からのマーカー位置 (X) は 240mm となります。

2) 吊りボルトにマジックペンなどで、天井から Xの値の位置にマーカーをつけます。

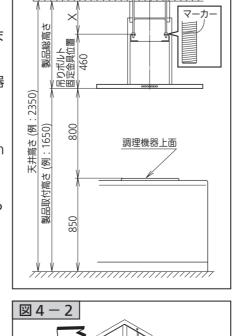
▲ (図4-2) ダクトカバーに付属の座付ねじ(φ5.1×25) 4本でダクトカバーを天井面に固定します。 お願い

切り欠きのある面をレンジフードの前後方向に

してください。向きを間違えると本体との固定

ができなくなります。

↑ ダクトカバー (別売部品) を取り付けます。



前側

座付ねじ

ダクトカバー

(単位:mm)

分 吊りボルトにナットを取り付けます。 **J** (図4-3) M10~12のナットおよびワッシャー

図4-3

前側

吊り金具

★体を吊りボルトに固定します。 1) 取り付けたダクトカバーに本体両脇 のガイドを差し込みながら本体を持 ち上げ、4ヶ所の吊り金具に吊りボ ルトを差し込み、吊り金具を挟み込

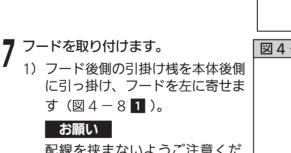
> 付作業者側手配)でしっかりと締め 付けます。 お願い

源プラグを天井裏などのコンセント に差し込みます。 ※必ず分電盤のブレーカーを「切」 にしてからおこなってください。

【 風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)を 「図4-5 **り** おこないます。(図 4 - 5)

排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレン ジフードの排気口を接続しようとすると、排気口と排 気口の設置面(製品天面等)が変形し、風漏れが発生 してしまう場合があります。 風漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転(強運転) をおこなってください。漏風する場合は、排気口と設 置面の周りをアルミテープ等(現場調達品)で漏風防

🕻 ダクトカバーと本体を固定します。 (図4-7) 付属品のトラスねじ (M4×10)4本 で左右各2ヶ所を固定します。



パーが本体のラッチに「カチット とロックされるまで持ち上げま す (図4-82)。

お願い それがあります。

3) 付属品のトラスねじ (M4×10) 3 本、(M5 × 12) 4 本でフード 下側から右図の各位置を固定しま す (図4-83)。

トラスねじ (M4 × 10) 2 本で固定します。 (図 4 - 9)

2 個 (2P および 4P) を本体のコネクター (2P および 4P) に接続します。 お願い コネクターを挿入する際は、ツメの向きを

↑ 天板前・天板後を取り付けます。

で取り付けます。

挿入する場合 脚まで が後に動かしても 抜けないこと 正しい差し込み方

1 煙道を取り付けます。 ₩ 1) 付属品の煙道内の固定テープを はがし、ベルマウスをはずしま す。(図4-11)

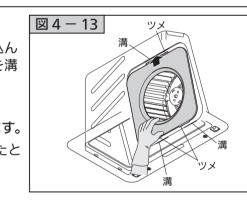
2) 煙道をフード開口部の前側(ス 図4-12 イッチ側)に沿わせるように挿入 したあと、ファン側に押し込みま す。(図4-12) ※煙道はキズをつけないよう、 ゆっくりと差し入れてくださ

ドに固定します。(図4-12) 44 ベルマウスを取り付けます。(図4−13) 【 【 ベルマウス上端のツメを本体の溝に差し込ん でから、やや下方にずらして下端のツメを溝

3) トラスねじ(M4×10)4本でフー

に入れます。

17 煙道枠、オイルパック、整流板を取り付けます。 ┗ 「3. フード・本体の準備」で取りはずしたと きと逆の手順で取り付けます。



この位置でねじ止め

5. 電気配線

● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと 発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります 分解・修理・

改造禁止 ● 交流 100 V以外では使用しないこと 火災・感電の原因になります 使用禁止 ● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が

工事をおこなうこと 誤った配線工事は感電や火災の原因になります ● アースを確実に取り付けること

故障や漏電のときに感電するおそれがあります アースの取り付けは販売店にご相談ください アースを ■「4.本体の取り付け」手順4の2)で以下の作業をおこないます。

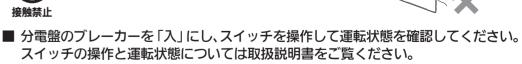
1)アース(D種接地工事)を取ります。 2) 分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。 お願い

・ 電源は専用のコンセント(2極差込接続器 15A、125V)およびブレーカーを 設けてください。 ・「6. 試運転」までブレーカーは「入」にしないでください。

6. 試運転

/ 注意

● 運転中は、指や物を絶対に入れないこと けがをするおそれがあります 接触禁止



■ 前ふたは取り付けていない状態で試運転してください。 ■ 運転時、各速調の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。

■ 異音や振動がないことを確認してください。

■ 屋外の排気出口から排気され、異音がないことを確認してください。 ■ 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料とな りますので十分確認してください。

7. 横ふた・前ふた・後ふたの取り付け

■ 横ふたは左右同一品です。また、前ふた・後ふたも同一品となります。

■ 横ふたを先に取り付けてください。 ■ 取り付けかたは「3. フード・本体の準備」の取りはずしかたを参考にしてください。 お願い

・ 取り付ける際は、フード天板面にキズをつけないように注意して取り付けてください。 ・ 横ふた・前ふた・後ふたの取り付けが終わったら、フード天板に貼ってあるキズ防止テー プをはがしてください(図3-5参照)。

※ 取付作業完了後は製品保護のため、はずした保護用のクッション材と固定テープは もとの状態に取り付けてください。

8. お客様への説明

■ 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。 ■ 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

富士工業株式会社

本社・営業部 〒 252-0206 相模原市中央区淵野辺 2 丁目 1 - 9 TEL 042(768)3754(営業部)

● 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。

防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合があ りますので使用しないでください。 ● 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダク

うにしてください。

● 部屋の中央で調理される場合は油煙が捕集しきれませんので、

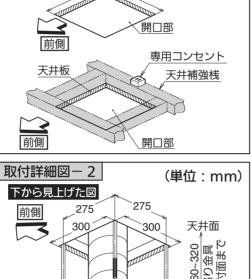
⚠ 警告

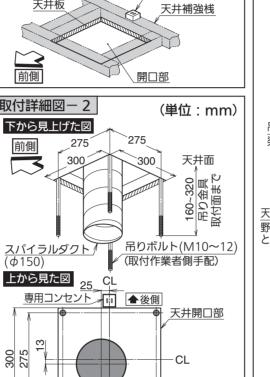
● レンジフードと排気ダクト等は、 可燃物との間を10cm以上離すか、 不燃材料を使用して可燃物を覆う

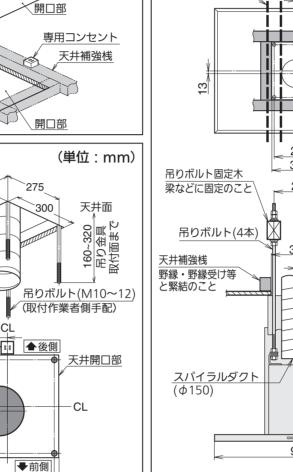
火災などの原因になります

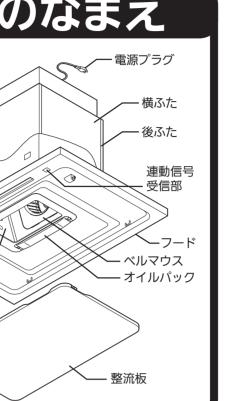
詳しくは所轄の消防署に問い合わせてくだ ● レンジフードは、薄板の金属部 (壁 内ラス網など) と接触しないよう取 取付注意

り付けること 漏電した場合、発火するおそれがあります 取付詳細図-1 (単位:mm) <u>奥行方向</u> 300

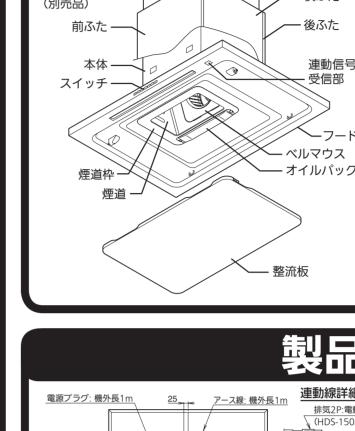












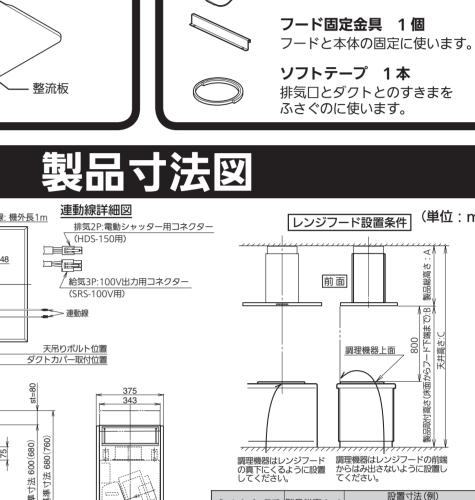
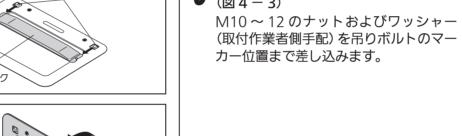
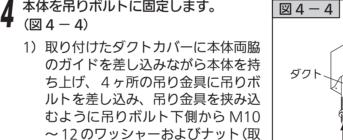


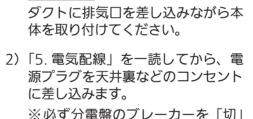
図4-11

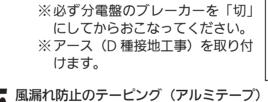
ベルマウス

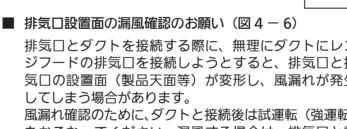
取り付けかた

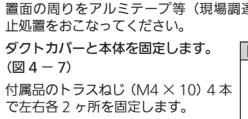


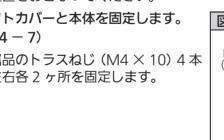


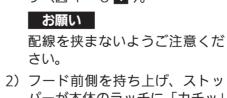


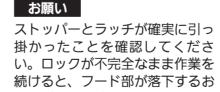




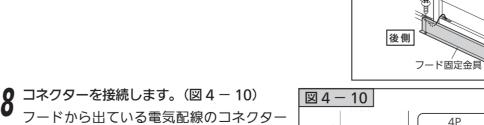


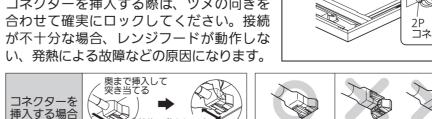


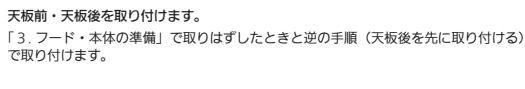




4) 本体背面に付属品のフード固定金具を引っ掛け、







- 本体

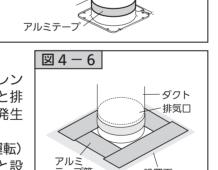
コンセント

ーナット

~吊りボルト

`ナット・ワッシャ**-**

(取付作業者側手配)



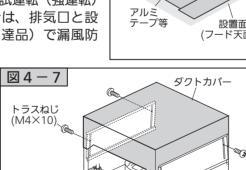


図4-8 引掛け桟 2 ストッパー

